

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	骨盤臓器脱に対する術式選択と成績
当院の研究責任者	大熊優子
他の研究機関および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	<p>当院における骨盤臓器脱に対する外科的治療の術式選択方法を提示し、各々の治療成績を検討します。</p> <p>当院では従来法と呼ばれる、経膣的に子宮を摘出し膣壁を修復する手術を行ってきましたが、2017年4月から指導医を招聘し、月に1回 TVM(経膣的にメッシュを挿入する方法)・LSC(腹腔鏡下仙骨膣固定術：腹腔鏡を用いて経腹的にメッシュを挿入する方法)での治療を開始しました。TVMは使用するメッシュの形にバリエーションがある事、LSCは頭低位で行う事とTVMより手術時間が長くなることを考慮し、慎重に術式を選択する必要があります。また、症状に合わせた術式を選択することで、臓器下垂や排尿にまつわる困った症状を再発しにくくすることが期待できます。</p>
調査データ該当期間	2017年4月から2021年10月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者様 上記期間に当院で骨盤臓器脱の手術として、膣閉鎖術または経膣的子宫全摘術と膣壁形成術、TVM、LSCを受けた方</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、手術データ、問診票の内容を、個人が特定できないように匿名化してデータベースを作成します。</p>
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	他の期間への試料・情報の提供はありません

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221 (病院代表) 所属・職名：産婦人科 担当者氏名：大熊優子
備考	